

公益社団法人 福島県看護協会

会津支部だより

第16号

発行所

公益社団法人
福島県看護協会
会 津 支 部

〈編集責任者〉

山 田 香代子

〈発 行 者〉

広 報 委 員 会

感謝



福島県看護協会会津支部長

山 田 香代子

今年度の会津支部の活動も、計画通りに実施することができました。病院や施設の管理者、会員の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

主な活動の紹介をいたします。「看護管理者懇談会」では、県看護協会の佐藤博子会長の協会活動紹介、行政保健師に地域の健康課題の講演、その後グループに分かれ日頃の取り組みや情報の共有を行いました。講師の方々にもグループに入っていたいただき、在宅療養支援の推進に向けて有意義な時間を過ごすことができました。

「地域看護活動」は、看護の日イベントを中学生向けに開催しました。小中高校生とその保護者の方十名余りで昨年より多くの方々に参加がありました。「看護師の仕事」

の体験や保護者の方に看護職の進学相談をする機会もありました。記念撮影するブースを設け昨年以上に楽しいイベントになりました。

教育では、「教育研修」と「看護研究発表会」を開催しました。教育研修は、今年も在宅での「意思決定支援」について、訪問看護の関わっている三名の方々にそれぞれの活動について講演、そして質疑応答を行いました。事例を具体的に発表されており、ご本人の意思を尊重した取り組みについて理解が深まる発表でした。看護研究発表会は、八演題の看護研究や実践報告の発表がありました。昨年同様百名を超える参加が得られました。いずれも、日頃の看護実践の中から取り組まれたものであり、それぞれの施設に持ち帰って看護実践に活かせるものでした。

最後に、私は六月の日本看護協会総会に参加いたしました。貴重な経験であり、今後看護協会活動を発信するとともに、支部活動にも反映できるように意識を高く持つて当たらねばと強く思いました。次年度も、引き続き皆さまのご支援・ご協力を賜ります様お願いいたします。

会津支部活動報告

開 催 日	内 容	場 所
7月 6日(土)	まちの保健室	道の駅あいづ湯川・会津坂下
7月28日(日)	ふくしま看護の日イベント	スマートシティAiCT
8月29日(木)	看護管理者懇談会	竹田綜合病院竹田ホール
9月 7日(土)	まちの保健室	ヨークベニマル西若松店
9月24日(火)	教育研修会	アピオスペース
11月10日(日)	会津若松市健康まつり	会津若松市文化センター
11月26日(火)	看護研究発表会	アピオスペース

地域看護活動について

地域看護活動委員 長谷川 昌子

地域看護活動ではまちの保健室、看護の日イベントを実施しました。

まちの保健室は、血圧測定や握力測定を実施し、健康に関する不安などを看護職に気軽に相談できる場となっております。今年度は道の駅あいづ湯川・会津坂下とヨークベニマル西若松店、会津若松市



まちの保健室
道の駅あいづ湯川・会津坂下



会津若松市 健康まつり

看護の日イベントは、看護の魅力ややりがいを伝える看護体験イベントです。今年度はスマートシティA i C Tで実施し、中学生とその保護者、小学生や高校生の参加がありました。さまざまな看護体験を通して看護職への興味を持ってもらうことができました。

健康まつりが行われた会津若松市文化センターでも実施しました。会津若松市健康まつり内のまちの保健室では、記念撮影ができるフォトブースも設け、「かんごちゃん」のアプリルもできました。毎回多くの方々に利用いただき、「測定できる機会が無いので良かった」等の意見も聞かれました。

令和六年八月二十九日(木) 竹田綜合病院竹田ホールにおいて令和六年度看護管理者懇談会が開催されました。今年度は主任以上の管理者への参加を呼び掛け総勢三十七名の参加者で開催されました。懇談会は二部構成で、一部は講師に福島県看護協会会長の佐藤博子先生、理事の小板橋眞由美先生、福島県会津保健福祉事務所の須藤桂先生をお迎えし、佐藤先生、小板橋先生には福島県看護協会の活動について、また、須藤先生には会津地区の健康課題、健康状況や生活習慣病への保健所の取り組みと題して貴重なご講話を賜りました。更には今年四月より開設したナースセンター会津サテライトより龍川初枝様、看護連盟副会長



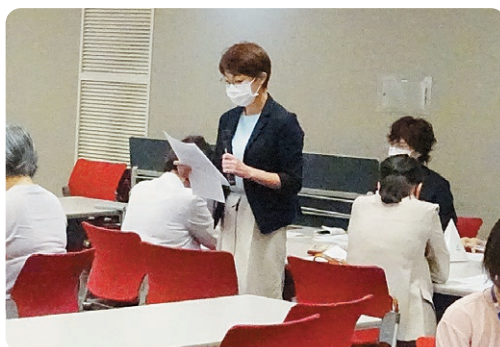
湯田ひろ子様からもそれぞれご挨拶をいただきました。二部はコロナ禍明け、久しぶりのグループワークの開催でした。五グループに分かれ、日ごろの実践の中で問題だと思っていることについて自施設での現状や感じていることなど活発な話し合いが繰り広げられました。それぞれ

広報委員 高 埜 和 枝

看護管理者懇談会報告



ふくしま看護の日イベント



のグループ発表に会場より拍手が送られ、終始和やかな雰囲気の中での意見交換が行われました。アンケートの結果から「他施設の状況、問題を共有することができてよかった」「他施設、多病院の管理者の方の話が聞けてとてもよかった」などの意見が聞かれ、とても有意義な時間となりました。

令和六年度教育委員 活動内容について

教育委員 五十嵐 由香里

今年度より、会津支部副支部長として教育を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

猛威を振るった「新型コロナウイルス感染症」も令和五年五月から、5類感染症に位置づけられ規制が緩和されました。とは言っても、医療の現場で働く私たち看護師にとりましては、緩和されたからこそその苦労が多くその対応に苦慮されたと思います。

看護協会会津支部の活動においても、昨年度は感染状況を鑑みながらの開催であり、参加人数の制限もあったようですが、今年度におきましては、参加人数も増えてきてお



り以前の状況に戻りつつありました。九月二十四日に「看護研修会」を開催。福島県看護協会の共通テーマである「退院支援」を基に、当支部では「生活といのちを支える在宅看護の視点から」というテーマで三名に先生方から実践報告をいただき質問に対し、先生方からのアドバイスをいただくなど活発なディスカッションができ、貴重な学びの場となりました。

【講師】

J A 福島厚生連

ばんげ訪問看護ステーション

所長 和田ゆう子先生

飯塚病院附属有隣病院
訪問診療担当看護師長

渡部八重子 先生

一般財団法人 温知会
会津中央訪問看護ステーション
緩和ケア認定看護師

小林 浩樹 先生

また、十一月二十六日には「看護研究発表会」を開催いたしました。今年度のエントリーは八題ありました。看護援助の向上のため、患者満足のため、所属施設の業務改善

など様々な角度からの発表でした。業務で多忙な中取り組まれた皆様、快く支援して下さいましたスタッフの皆様、査読を担当された先生方ありがとうございました。臨床の現場で働く看護師だけでなく、看護学生の参加もあり、看護学生にとりましては、今後看護現場での思考過程の一助となったことと考えております。

最後に、不慣れでありご迷惑をおかけいたしました。ご協力いただき心よりお礼を申し上げます。今後も福島県看護協会会津支部の教育活動に、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



令和六年度 看護研究発表会演題

【第Ⅰ群】 座長 医療法人昨雲会 飯塚病院附属有隣病院 高橋 信江

I-1	救急外来情報収集シートの見直し — S B A Rを活用して— 福島県厚生農業協同組合連合会坂下厚生総合病院 石黒 沙織
I-2	E C M O専用処置カート の作成と効果 —統一した処置を目指して— 一般財団法人温知会会津中央病院 黒田 麻子
I-3	内視鏡室における5 S活動の取り組み 公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院 加藤 沙織
I-4	白内障術前オリエンテーションの見直し —DVD視聴と口頭説明の併用を試みて— 福島県厚生農業協同組合連合会高田厚生病院 新国 智子



【第Ⅱ群】 座長 一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 鈴木 澄恵

II-1	自宅生活を続ける独居高齢者への有効な支援方法と課題 —1つの症例を通し入院から現在までを3つの段階に分け学んだこと— 福島県厚生農業協同組合連合会坂下厚生総合病院 横田 仁美
II-2	B P S Dの勉強会を通して —職員の理解度の変化— 医療法人昨雲会飯塚病院 千葉 あかり
II-3	介護支援専門員の活動が及ぼす病棟看護師の退院支援への影響 医療法人昨雲会飯塚病院附属有隣病院 高畑 かおり
II-4	ストーマ造設術を受けた患者のセルフケア獲得に必要な看護 公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院 五十嵐 一沙





会津若松医師会附属 会津准看護高等専修学校

会津若松医師会附属会津准看護高等専修学校は、1932年若松産婆看護婦学校として開設し、その後准看護養成所として福島県から認可され、今年73年目を迎えます。

現在は少子化の影響を受け、学生数も減少し各学年20名定員のところ、1年生11名2年生4名で合わせて15名の学生数です。最近は社会人入学の学生も多く、学生の年齢も18歳から55歳と幅広く、教員も学生同士も、物の見方・考え方の幅が広がっております。



会津准看護高等専修学校が、アピオスペースに移転して、はや7年目を迎えます。インターに近いため、新潟から通っていた学生もありました。

学校では、月に1回地域貢献・ボランティア精神の育成として、アピオ内のクリーン活動を学生・職員で行っております。毎回袋にいっぱいのごみを持ち帰り、学生はそのゴミの多さに驚いております。

ここで看護を学び、実践で大きく羽ばたくことを期待しながら、私たち教員は日々学生に寄り添い、一緒に学び続けております。そして、これからの医療・介護の担い手となるように、育てていきたいと思っております。

『来たれ学生!! 集まれ社会人!!』学生募集しております。

(副校長兼教務主任 鈴木 節子)



編

集

後

記

今年度も会員の皆様のご協力を頂き様々な活動を実施することができました。広報誌は今回で第16号となりますが、これまでの広報誌の形を変更しましたので活動をご理解頂ければ幸いです。お忙しい中、寄稿して頂いた皆様には深く感謝致します。

広報委員

市原 智文 酒井美紀子
遠山恵美子 高埜 和枝